

Title	JAIST学術研究成果リポジトリの充実計画 ~業績データベースと連携したコンテンツ集め~
Author(s)	寺田, 美樹
Citation	
Issue Date	2009-07-09
Type	Presentation
Text version	author
URL	http://hdl.handle.net/10119/8191
Rights	
Description	平成20年度CSI委託事業報告交流会（コンテンツ系）発表資料，平成21年7月9日開催

平成21年7月9日 平成20年度CSI委託事業報告交流会(コンテンツ系)
成果報告:リポジトリを育てる —Fresh Reminders Session—

JAIST学術研究成果リポジトリの充実計画

～業績データベースと連携したコンテンツ集め～

北陸先端科学技術大学院大学
学術情報サービス室 学術管理係 寺田 美樹

本日の内容

- 取り組みの概要
- 学術雑誌論文の収集について
 - ＜リポジトリ充実計画＞
 - 業績データベースとの連携
 - コンテンツ収集方針・方法, 作業手順
- まとめ, 今後の計画

大学について

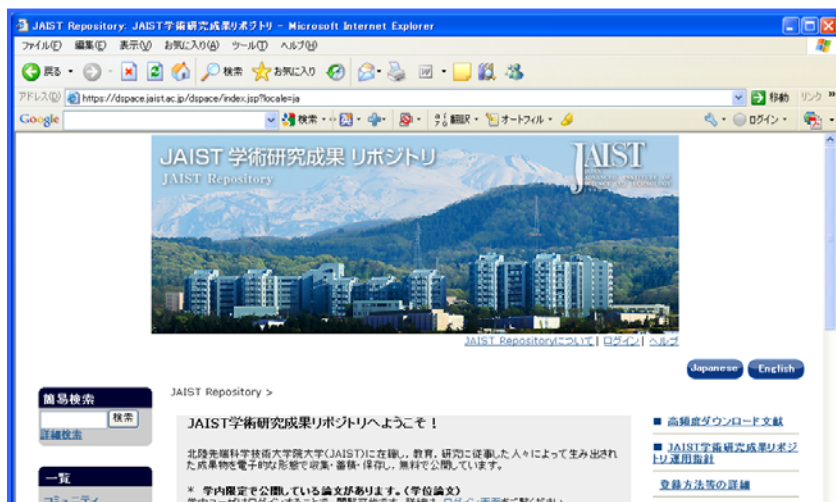
北陸先端科学技術大学院大学

Japan Advanced Institute of Science and Technology

- 研究科：知識，情報，マテリアルサイエンス
- 学生数：835名
博士前期課程 583名，博士後期課程 252名
- 教員数：160名

(平成21年4月1日現在)

リポジトリへの取り組みの概要



「JAIST学術研究成果リポジトリ」

<https://dspace.jaist.ac.jp/>

- 運用開始：平成19年5月30日
- コンテンツ公開数：5,054件
(平成21年3月31日現在)

＜H20年度コンテンツ収集活動＞

● 学術雑誌論文

収集方針・方法を見直し、学内の承認を得て計画的に作業を進めることで、**660件**の論文を登録した。

● COE研究成果

COEの各種報告書、研究論文に加え、プロジェクトの一環として電子化された研究・技術計画学会の講演要旨集(1986～2008年)についても学会の承諾を得て、**約2,600件**の論文等を登録した。

● 学位論文

平成19年度より、論文登録は、学生がリポジトリの投稿画面から直接行い、公開までの作業が効率的に行えるようになっている。今年度も引き続き、学生への許諾確認作業や登録手続きのサポート等を関係部署と協力して行い、論文収集に努めた。

● 学内刊行物

刊行物の発行時にリポジトリへの申請手続きが行えるよう、収集手順や関係書類等を整備し、積極的にリポジトリへ収集する体制を整えた。

学術雑誌論文の収集

「リポジトリ充実計画」

- 業績データベースとの連携
- 論文収集方針
- 論文収集方法
- 作業手順

業績データベースとの連携

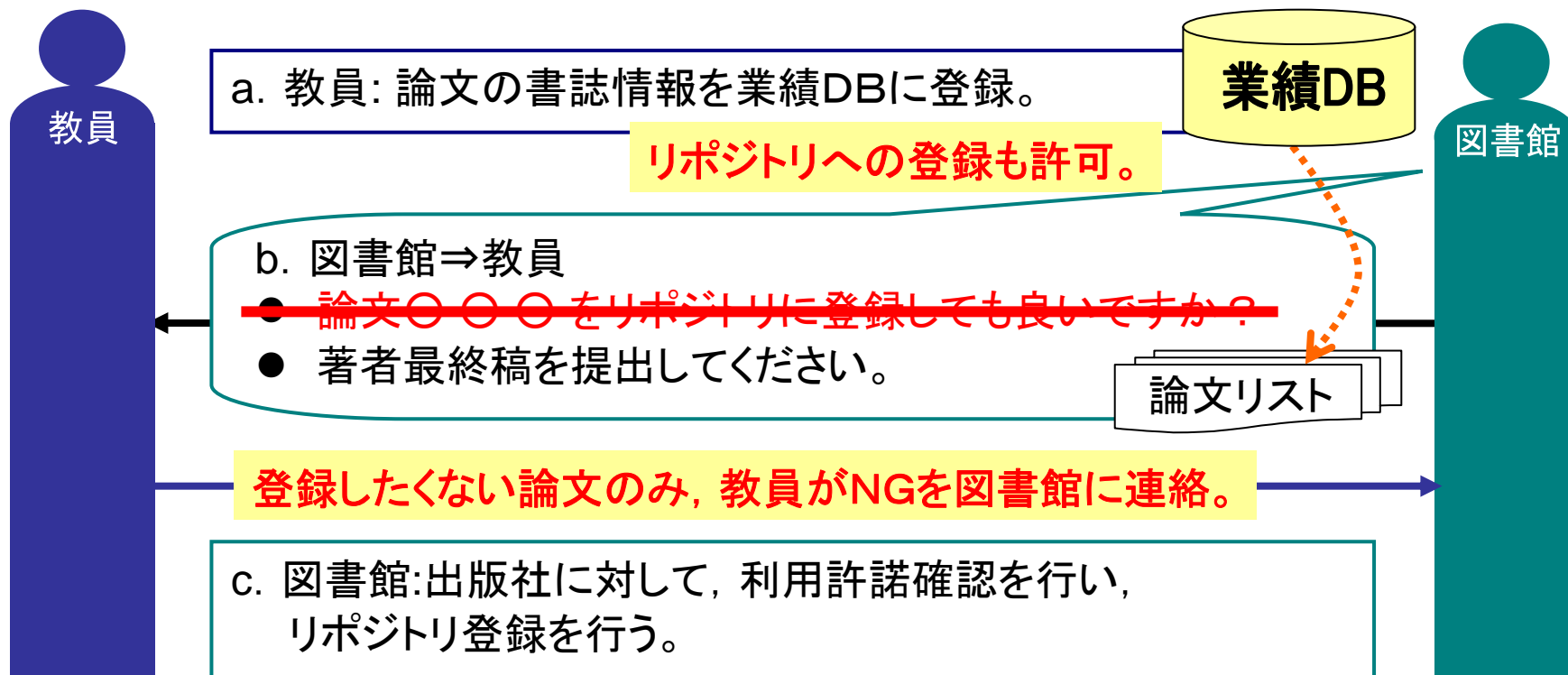
背景

- 教員自身が、発表論文の書誌情報を入力。
- データの入力率が高い。
- 他のデータベース（Web of Science等）では、出版社が限られてしまう。

⇒ 業績データベースから、発表論文の情報を得ることに決定！

業績データベースとの連携・収集方針

業績データベースのデータ利用し，学術雑誌論文を収集する。



業績DBに登録されている論文は，教員からの申し出がない限り，リポジトリ登録を認めるものとし，論文のリポジトリ登録を行う。

論文収集方法 ①

出版社群（許諾条件）と年代にわけて論文を収集。

● 出版社群

出版社の著作権ポリシーの調査を行い、許諾条件に合わせ以下のとおり出版社をA, B, C群と分類。

出版社群	出版社版の登録	図書館で入手(OJ)	作業
出版社A群 AIP, APS, IEEEなど	○	○	図書館で出版社版を入手し登録。
出版社B群 信号処理学会, 日本認知科学会など	○	×	教員が出版社版を提出し登録。
出版社C群 Elsevier, Springerなど	×	×	教員が著者最終稿を提出し登録。

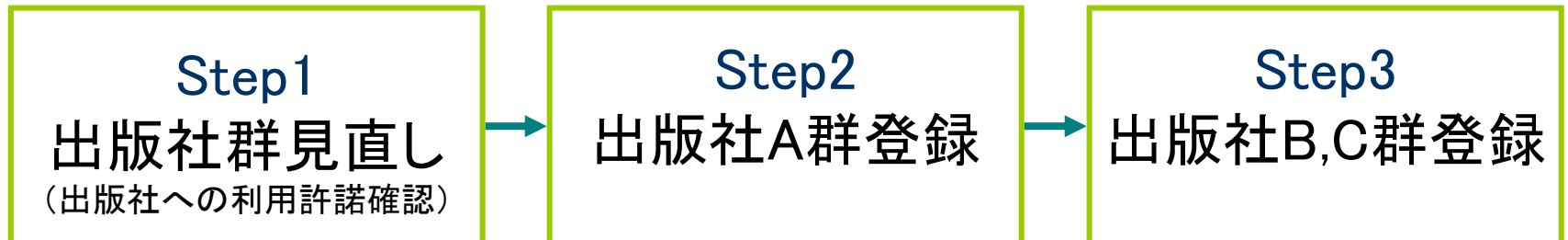
論文収集方法 ②

● 年代 (出版年で分類)

第1次: H18年度以前の発表論文を中心に収集

第2次: **前年度** (H19年度) の発表論文を中心に収集
⇒ **これから毎年実施**

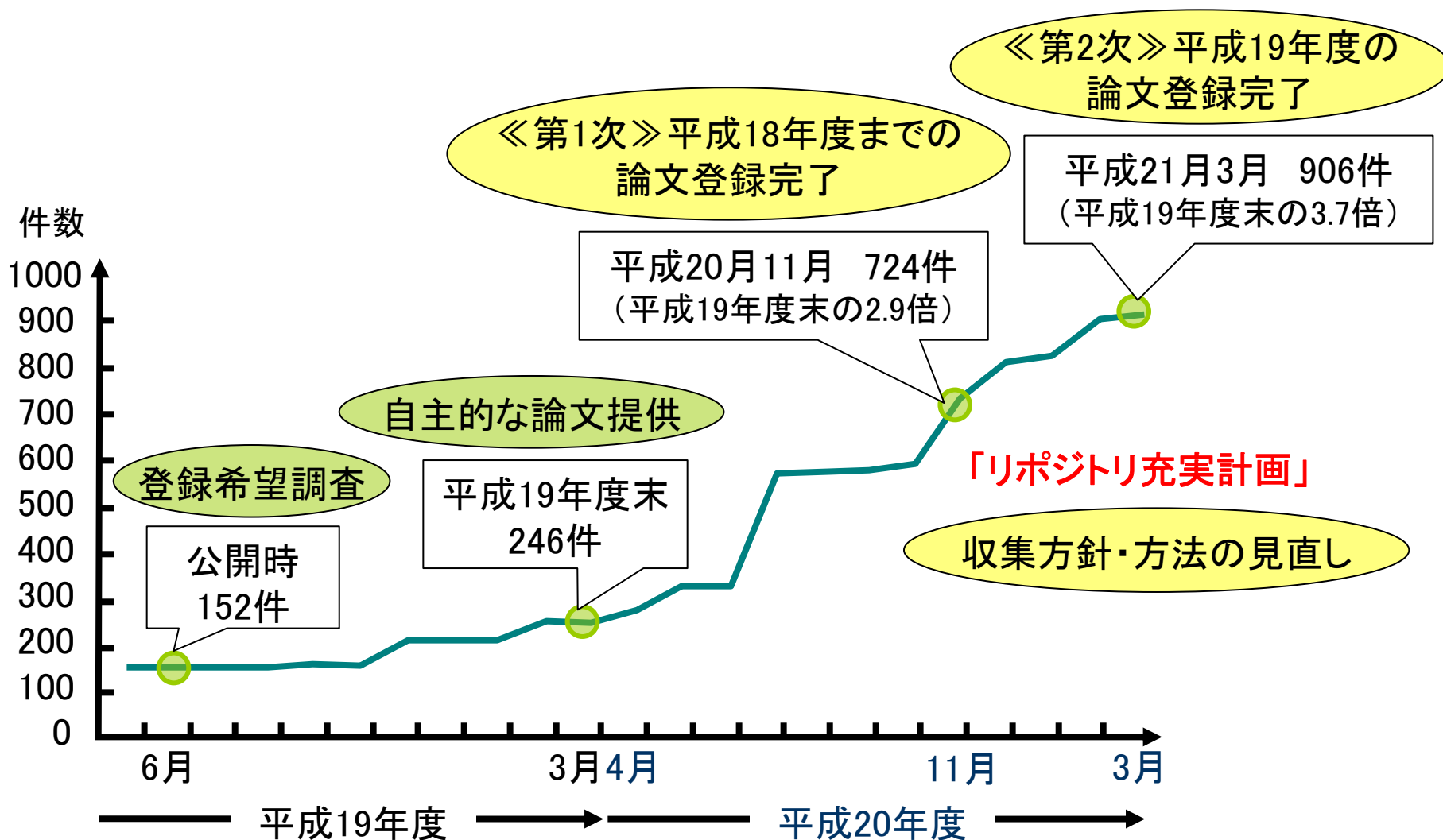
● 作業手順



論文公開までの作業手順（詳細）

#	業務分類	作業内容	担当		スケジュール (例:第2次論文収集)
			教員	図書館	
1	STEP 1: 出版社への 利用許諾確認	業績DBに前年度の業績を入力	○		~8月中旬
2		業績データ(前年度分)を入手		○	8月中旬
3		発行元の出版社/学会を調査		○	8月中~下旬
4		出版社/学会への利用許諾確認		○	9月上~10月下旬
5		出版社群リスト更新		○	10月下旬
6	STEP 2: 出版社A群 登録	出版社A群の登録を教員に通知		○	10月下旬
7		登録を希望しない場合、図書館に連絡	○		10月末締切
8		出版社A群のPDF入手		○	11月上旬
9		書誌情報作成		○	11月中~12月中旬
10		書誌情報、論文(PDF)登録、確認		○	12月下旬
11	STEP 3: 出版社B,C群 登録	出版社B,C群の教員別論文リスト作成		○	11月中~下旬
12		教員別リストを各教員に送付		○	11月下旬
13		メールで論文を提出	○		12月末締切
14		提出された原稿の確認		○	12月上~下旬
15		書誌情報作成		○	1月上旬~2月上旬
16		書誌情報、論文(PDF)登録、確認		○	2月中旬
17		登録論文リストを作成し、教員に送付		○	2月下旬

コンテンツ増加状況 (学術雑誌論文)



取り組みを振り返って

コンテンツ充実以外にも

- 収集方針・方法, スケジュールを確立
- 出版社への問い合わせ実績を蓄積
- 論文を登録した教員数の増加

平成19年度末: 39人(全教員数に対する割合 約25%)



平成20年度末: 113人(全教員数に対する割合 約68%)

<教員へのアプローチ>

リポジトリの必要性, 論文登録のメリットを強調

まとめ, 今後の計画

コンテンツの収集を継続。そして利用されるリポジトリに！

- 着実にコンテンツを収集
毎年, 同じスケジュールで作業
- コンテンツ収集作業の効率化
業績入力画面にPDFアップロード機能追加(検討中)
- 論文を効果的に発信
JAIRO, CiNii, 教員個人のwebページからのアクセス増
Googleサイトマップ登録
業績一覧からのリンク(検討中)